**令和5年度ニチレイチャレンジ　特別泳力検定会報告書(長野会場)**

期日　令和5年11月5日(日)

会場　アクアウイング(長野運市営長野運動公園総合運動場総合市民プール)

参加人数　49名(66種目)

ゲスト　2008年北京五輪　男子400mメドレーリレー　銅メダル　宮下純一氏

　　　　2016年リオデジャネイロ五輪　女子200m平泳ぎ　金メダル　金藤理絵氏

受験者　1級21人　2級15人　3級19人　4級9 人　6級1人　7級1人

合格者　1級18人　2級11人　3級18人　4級8人　6級1人　7級1人

報告者　(一社)長野県水泳連盟　泳力検定委員長長　浅地　敏

　錦秋織りなす山脈を背景にしたアクアウイングに於いて、令和5年11月5日(日)にニチレイチャレンジ特別泳力検定会が開催された。ゲストオリンピアンとして、宮下純一氏と金藤理絵氏をお迎えした。メダリストが二人もそろうという豪華な検定会であったが、当初の計画を大きく下回る参加者になってしまい、ゲストのお二人には大変失礼な思いをさせてしまいました。理由は、ここ長野県ではまだまだ、泳力検定というものが浸透していないということに尽きるかと思われます。検定ってなに？検定って難しいのではないの？検定の資格をとってなんに役立つの？等々、さまざまな疑問への理解が不足していたということになります。

　少人数での検定会でしたが、午前中の水泳教室には深く感動いたしました。まず、前日にオリンピアンのお二人から、検定会にはどういうレベルの人が参加するのか、参加者は何を望んでいるのかということを徹底的に質問され、それを受けての実際の水泳教室では、ものの見事に参加者のレベルにあった進行を進めて頂き、なおかつ、まるで何回もコンビを組んでいるかのように、宮下氏と金藤氏の声の連携、技の発揮、場の盛り上げと息をつかせぬレッスンで、我々水泳関係者が見ていても驚くばかりにポイントを絞った講習であった。

　陸上でもお二人のトークショーが行われ、水泳との出会い、オリンピックまでの厳しい練習に耐えられた理由、そしてオリンピック本番でのレースと興味深いお話も聞くことが出来た。最後には質疑応答があり、質問して回答を得た8歳のこどものキラキラ光る眼がとても印象的であった。この子が将来大きく育ち、選手になった時に今日の日のことを思い起こしてくれたら、少人数であった今回の検定会も意義があったこととなる。

　終わりにあたり、この検定会開催にあたり、快くオリンピアンを派遣して頂き厚く御礼申し上げます。検定会をこれからも開催し、少しでも泳力検定制度というものをここ長野県でも広めていきたいと考えております。ご支援ご協力に感謝いたします。